

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	153	4年	前期	臨床検査学科	必修	患者家族の心理 Patient & Family Clinical Psychology	15	1
担当教員								
高田 智世	石田 也寸志	仲田 琴美						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
○	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
様々な局面にある患者・家族の心理について、文献や当事者の語り、臨床心理士から学ぶ。これらの学びや医師や看護師の立場からの視点をもとに検査場面での対応について研鑽し、医療人として必要な態度を身につける。								
到達目標（授業目標）								
1 臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶ意義が理解できる。								
2 様々な局面にある患者・家族の心理が理解できる。								
3 患者・家族の心理を踏まえ、検査場面における適切な対応を考えることができる。								
4 チーム医療のなかで臨床検査技師に求められることについて考えることができる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	臨床検査と患者の心理：臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶことの意味、検査時の患者心理と検査結果のもつ意味について講義する。（高田智世）							
2回	患者・家族の体験：患者・家族が医療従事者に何を望んでいるのか、当事者の声から聴く。（教育協力者）							

3回	様々な病を抱えた患者・家族の心理－臨床心理士の立場から：患者・家族がどのような思いで何を望んでいるのか、臨床心理士から聴く。（教育協力者）
4回	様々な局面における患者・家族の心理：グループワークのためのテーマ選定などの準備を行う。（高田智世）
5回	様々な局面における患者・家族の心理と対応(1)－医師の立場から：患者・家族がどのような思いで何を望んでいるのか、対応について講義を行う。（石田也寸志）
6回	様々な局面における患者・家族の心理と対応(2)－看護師の立場から：患者・家族がどのような思いで何を望んでいるのか、対応について看護師から聴く。（仲田琴美）
7回	様々な局面における患者・家族の心理：グループワークの成果発表する。（高田智世）
8回	様々な局面における患者・家族の心理と臨床検査技師に求められる患者対応について：患者にわかる説明についてDVDを見ながらと安心をもたらす対応について考える。また、これからの臨床検査技師に求められるものについて考える。（高田智世）
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

文献探索グループワーク・発表（50点）、総括レポート（50点）。トータル60点以上を合格とする。

教科書	なし
参考図書等	岡堂哲雄「病気と人間行動」（中央法規出版） 友安直子「プロに学ぶ患者接遇」（医学通信社）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

関連科目

前科目	130	心理学	131	コミュニケーション	444	臨地実習Ⅰ				
後科目	446	臨地実習Ⅲ								

実務家教員

臨床検査技師（医療機関）	高田 智世					
医師（医療機関）	石田 也寸志					
看護師（医療機関）	仲田 琴美					

備考

授業外に、様々な局面における患者・家族の心理に関する文献検索（グループ課題）とレポートがあります。